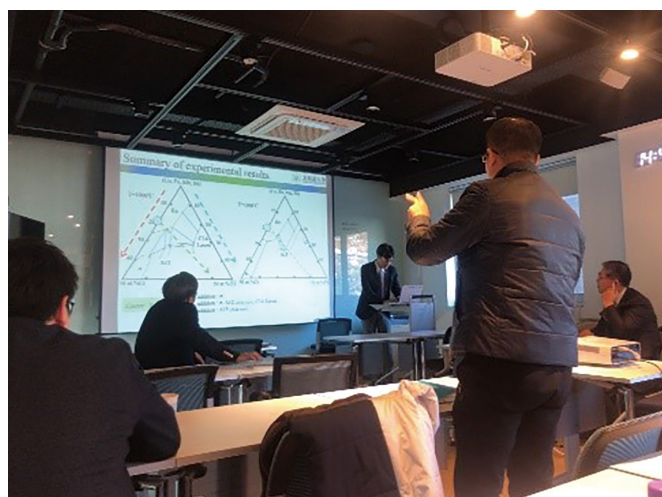


大学入試センター試験の実施 第22回ソウル大学校-北海道大学ジョイントシンポジウムを開催



第22回ソウル大学校-北海道大学ジョイントシンポジウムを開催



参加者集合写真

11月14日(木)、15日(金)に、韓国ソウル大学校(Seoul National University, SNU)と本学のジョイントシンポジウムを開催しました。両大学の合同シンポジウムは、平成10年より毎年交互にホスト校となる形で開催されており、第22回となった本シンポジウムは、『人工知能(AI)時代における、大学の挑戦と機会』というテーマの下、SNU冠岳キャンパスで行われました。

今回の参加が初めてとなるSNUオ・セジョン学長の開会挨拶に続き、本学笠原正典総長職務代理の挨拶、SNUク・ミンギョ国際部署の長による各参加分科会の紹介を以て、全体会が開会しました。基調講演として、SNUビッグデータ研究所創設者である電気・情報工学部チャ・ソンギョン教授からは、ビッグデータ、コンピューティング、AI・アルゴリズムの流れが説明され、次いでデータサイエンス大学院を開設し、生物、環境科学、物理学、社会科学等情報科学以外の学部生を集めて共同教育を行い、データサイエンスの恩恵を広く行き渡らせるというSNUの新イニシアティブが紹介されました。続いて、本学情報科学研究院の川村秀憲教授からは、グルメレビューサイト、ファッション通販サイトへのAI応用、競輪の結果予想、漁網やロードヒーティング設置路面での積雪感知での経費節約に資す

る等、様々な分野での実用例が示されました。

今年度は7部局から8分科会が催され、同時期に開催が可能であった分科会から約100名が全体会に参加しました。第23回は令和2年に本学で開催する予定です。

プログラムはホームページの「国際的な学術交流」のページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

◆<https://www.hokudai.ac.jp/international3/internationalization/academicexchanges/jointsymposium/>

(国際部国際連携課)



SNUオ学長と北大笠原総長職務代理



全体会の様子



SNU音楽大学学生による、伝統音楽演奏



SNUチャ教授



本学川村教授

分科会1

International Workshop on New Frontiers in Convergence Science and Technology for Artificial Intelligence

複合領域科学及び人工知能のニューフロンティアに関する国際ワークショップ／情報科学研究院 教授 平田 拓

情報科学研究院・学院はソウル大学校側のカウンターパートであるGraduate School of Convergence Science and Technology (GSCST)と分科会を開催しました。GSCSTは、複合領域（ナノマテリアル、バイオ、情報科学）の分野を対象とする研究科です。今回は、情報科学研究院から齊藤晋聖教授、吉岡真治教授、川村秀憲教授、平田 拓教授の4名が参加しました。また、大学院生3名も参加しました。

分科会 International Workshop on New Frontiers in Convergence Science and Technology for Artificial Intelligence は、11月15日にGSCSTの講堂で開催されました。分科会に先立ち、北大の教員がSung-Joon Ye研究

科長を表敬訪問しました。分科会では、北大の教員4名とソウル大の教員4名が研究発表を行い、両大学の大学院生10名もポスター発表を行いました。全体では、北大の教員4名、院生3名、ソウル大の教員9名、院生46名、合計62名の参加となりました。飛行機の時間の関係でタイトなスケ

ジュールでの訪問でしたが、両大学の教員はもとより大学院生同士も交流し、相互理解を深めることができました。今回は、国際連携機構の支援により大学院生3名を派遣することができました。

(情報科学研究院)



ジョイントシンポジウム分科会の集合写真



分科会の参加者

分科会2

Teacher Education Forum: Preparing Thinker Teachers and 2019 SNU-HU-NTNU-KU Joint Symposium for Science Education

教師教育フォーラム：思索する教師をつくる & 2019年理科教育のためのSNU-HU-NTNU-KUジョイントシンポジウム／教育学研究院 教授 大野栄三

本分科会は、カセサート大学（タイ王国・バンコク）で、カセサート大学教育学部50周年記念行事と合わせて開催されました。カンボジア、ミャンマー、インドネシアからも本分科会への参加があり、活発な研究討議を行うことができました。

第1日目は地方州立の小学校を見学しました。公立小学校ですが、カセサート大学教育学部の協力の下、算数や理科などの授業をすべて英語で行う

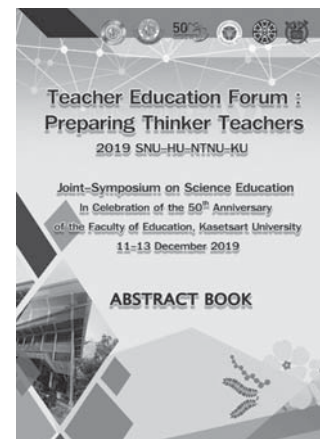
という挑戦的な取り組みが実践されていました。小学生が教師の質問にしっかりと英語で答えていました。第2日目はカセサート大学教育学部50周年記念行事に参加しました。「Thinker Teacher」をキー・ワードに、基調講演とパネル討論からなる充実した内容でした。記念行事の後に設定されたミーティングでは、各国から参加した大学間で、今後の相互交流について意見交換を行いました。第3日目が本分

科会でした。カセサート大学の大学院生が、研究発表、分科会の運営で大活躍していました。また、若手同士でも活発な研究交流ができたようです。今回は本学で開催する予定です。

(教育学研究院)



分科会の様子



要旨集表紙

分科会3

SNU-HU-MU Joint Class: Environmental Chemicals and Human Health

SNU-HU-MU共同講義：環境化学物質と人びとの健康／環境健康科学研究教育センター 特任准教授 荒木敦子

11月21日（木）・22日（金）に、本分科会を開催しました。本分科会は5回目の開催であり、Seoul National University（SNU）、Mahidol University（MU）との協同講義としては4回目となります。本学を含む3大学に所属する教員10名及び大学院生29名が参加しました。環境化学物質の曝露評価や生体モニタリング等の基礎知識に加えて、大気汚染と健康問題、室内環境、e-Waste、胎児期の化学物質曝露と子どもの健康、化学物質管理に関する、幅広い講義が提供されました。加えて、3大学に所属する大学院生の混合構成による4組が事前学習として情報収集や討論を行い、その成果を発表しました。環境保健、環境疫学を専門とする大学院生のみならず、本

学からは保健科学院、医学院、獣医学院、国際感染症学院、経済学院、工学院、環境科学院に所属する大学院生が参加し、留学生も多く参加したことから、国際色豊かで多様な視点を持つ質問や意見が出されました。

本講義を通じて本学とSNU、MUの大学院生との交流を通じてネットワークを形成することは、受講生の将来の

キャリア形成においても有益です。来年度はMUにてラーニングサテライト事業として開講予定です。受講生からの評価も高く、来年度も参加したいという希望がありました。今後も継続して講義を提供していく計画です。

（環境健康科学研究教育センター）



集合写真



グループプレゼンテーション

分科会5

Toward Understanding of Changing Environment in East Asia

東アジア域の変わりゆく地球環境の理解に向けて／理学研究院 准教授 佐々木克徳

本分科会では「東アジア域の変わりゆく地球環境の理解に向けて」というテーマで、ソウル大学校地球環境科学部において計15件の研究発表を行い、東アジア域の地球環境問題について、気象学から海洋物理学、海洋化学、海洋生物学までの幅広い分野にわたって熱心な議論が交わされました。

午前にはソウル大学校のHanna Na助教による歓迎の挨拶で始まり、本学から3名とソウル大から4名が、各々の研究について口頭発表を行いました。午前と午後のサブセッションの間には、学生主導で分科会独自のソウル大見学ツアーを開催し、交流を深めました。午後には本学から4名、ソウル大から4名が各々の研究について口頭発表を行いました。分科会の最後には本

学の佐々木克徳准教授が、今年度の若手研究者並びに大学院生の熱心な発表・討議についての賛辞と、来年度の北海道大学での分科会の開催と再会を約束し閉会となりました。

総出席者数は40名程度で、本年度は

韓国極地研究所（KOPRI）からの参加もありました。今後とも研究活動の交流を通じ両校の友好的な関係を維持するように努めていきます。

（理学研究院）



分科会の集合写真

分科会6

Dentistry in the Aging Society

高齢化社会における歯科（歯学）／歯学研究院長 八若保孝

11月14日（木）にソウル大学校歯学部にて、同校歯学部と本学歯学研究院がカウンターパートとなり、「Dentistry in the Aging Society（高齢化社会における歯科（歯学）」をテーマに、分科会を開催しました。本分科会では、歯学研究院の渡邊 裕准教授が、「Oral Frailty Concept（オーラルフレイルの概念）」をテーマに講演し、講演後のフリーディスカッションでは、高齢化が急速に進展している中で、両校が歯科の分野で連携し、どのように貢献していけるかなどについて、活発な意見交換がなされました。

分科会終了後には、ソウル大学校歯

学部の施設見学もさせていただき、非常に有意義な訪問となりました。

なお、全体会の前日にはソウル大学校歯学部主催の懇親会も開催いただき、両学部等の親睦を深めるとともに、今後も、両学部等の交流を進め、

部局間交流協定を締結し、学生の派遣や共同研究に結びつけていくことで意見が一致しました。

（歯学研究院）



講演する渡邊准教授



集合写真

分科会8

The 8th HU-SNU Joint Symposium on Materials Science and Engineering

第8回材料科学工学に関する合同シンポジウム／工学研究院 教授 橋本直幸

本シンポジウムは、ソウル大学校の Myoung-Gyu LEE教授を窓口とし、11月14日（木）にソウル大学校材料工学化学棟において開催されました。ソウル大と本学双方から計8名の教授・准教授、大学院生10数名を加えて、計20名以上の参加者数となり、先生方から材料科学に関する最新の研究の紹介がありました。特に、本学からは新規材料あるいは新学術領域に係る研究発表がなされ、ソウル大学校からは最新の材料評価技術に関する報告があり、これらに対して活発かつ有意義な討論が行われました。一部の研究課題については、今後も引き続き情報交換する予定です。各機関とも共同研究の締結には積極的であり、実際、参加者の一部はシンポジウムを通して互いに連絡を取り合っています。次年度は本学がホストとなり、第9回合同シンポジウムを開催することで合意しました。なお、開催時期及び場所については今後の調整が必要ですが、初夏にサマース

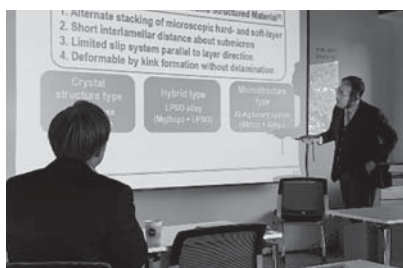
クールと併せた開催を検討しています。また、インターンシップによる学生の交流もこれまでどおり積極的に行

います。

（工学研究院）



参加者集合写真



シンポジウムの議論

分科会9

The Role of Nuclear Engineering toward a Sustainable Future

持続可能な未来への原子力工学の役割／工学研究院 准教授 千葉 豪

本分科会は、原子力工学分野におけるソウル大学校と本学の情報交換と交流を目的として、歓迎レセプションの翌日にソウル大学校のNuclear Engineering Departmentの建物にて行われました。今回で22回目を迎える合同シンポジウムですが、原子力工学分野に関わる分科会が開催されるのは初めてとなります。韓国、日本ともに、原子力エネルギー利用の見直しがそれぞれの国内で議論されていますが、大規模エネルギー源として世界的に大きな役割を果たしてきた原子力工学技術の重要性は今後も変わりはなく、それぞれの大学では原子力技術のさらなる深化を目指した研究開発が進められています。本分科会はそれを両校で共有する良い機会となりました。

ソウル大学校からは4名、北海道大学からは3名の教員が参加し、原子力工学の中の原子炉物理・原子力熱水力・原子力材料に関する最先端のアクティビティが紹介されるとともに、学生セッションでは各校からそれぞれ4名の学生が研究発表を行いました。朝

から夕方までぎっちり予定が詰まった密度の濃い分科会でしたが、学内カフェテリアでの昼食やソウル市内の有名焼肉店での夕食なども含めて、大いに親睦を深めることができました。

来年度は本学がシンポジウムのホス

トとなりますが、本分科会も継続して行うことで合意しました。より発展させた分科会をホストとして計画しているところです。

(工学研究院)



集合写真



分科会の風景